

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

2022 年 6 月 13 日

兵庫県知事 殿

提出者

住所 兵庫県南あわじ市賀集野田407番  
パナソニック エナジー南淡株式会社  
氏名 社  
代表取締役社長 森 吉彦  
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0799-53-1121

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	パナソニック エナジー南淡株式会社 本社工場
事業場の所在地	兵庫県南あわじ市賀集野田407番地
計画期間	2021年4月1日から2022年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項 <b>別紙1, 2のとおり</b>	
①事業の種類	
②事業の規模	
③従業員数	
④産業廃棄物の一連の処理の工程	

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項	<b>別紙 1, 2 のとおり</b>
(管理体制図)	

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項	<b>別紙 1, 2 のとおり</b>		
①現状	<b>【前年度（令和 年度）実績】</b>		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	<b>【目標】</b>		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の分別に関する事項	<b>別紙 1, 2 のとおり</b>
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

別紙1, 2のとおり

①現状	【前年度（令和 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

別紙1, 2のとおり

①現状	【前年度（令和 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項 **別紙1, 2のとおり**

①現状	【前年度（令和 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

**別紙1, 2のとおり**

①現状	【前年度（令和 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

②計画	<b>【目標】</b>	<b>別紙1, 2のとおり</b>	
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第6面)

備考

1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。

2 当該年度の6月30日までに提出すること。

3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。

7 ※欄は記入しないこと。

別紙1(廃棄物処理法-産業廃棄物処理計画書)

現状：前年度(令和 3 年度)実績量

計画：今年度(令和 4 年度)計画量

単位:トン/年

産業廃棄物の種類	排出抑制に関する事項		自ら行う再生利用に関する事項		自ら行う中間処理に関する事項				自ら行う埋立処分等に関する事項		処理委託に関する事項									
	排出量 (前年度実績値の①)		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量 (前年度実績値の②+⑧)		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量 (前年度実績値の⑤)		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量 (前年度実績値の⑦)		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量 (前年度実績値の③+⑨)		全処理委託量 (前年度実績値の⑩)		優良認定処理業者への処理委託量 (前年度実績値の⑪)		再生利用業者への処理委託量 (前年度実績値の⑫)		認定熱回収業者への処理委託量 (前年度実績値の⑬)		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量 (前年度実績値の⑭)	
	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画
0100燃え殻																				
0200汚泥	2.42	3	0	0	0	0	0	0	0	0	2.42	3	0	0	0.242	0.3	0	0	0	0
0300廃油	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0
0400廃酸	1348.3	1400	0	0	0	0	0	0	0	0	1348.3	1400	0	0	13.483	14	0	0	0	0
0500廃アルカリ	22.8	25	0	0	0	0	0	0	0	0	22.8	25	0	0	22.8	25	0	0	0	0
0600廃プラスチック類	36.091	40	0	0	0	0	0	0	0	0	36.091	40	0	0	36.091	40	0	0	0	0
0700紙くず																				
0800木くず	0.32	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0.32	1	0	0	0.32	1	0	0	0	0
0900繊維くず																				
1000動植物性残渣																				
1100ゴムくず																				
1200金属くず																				
1300ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず																				
1400鋳さい																				
1500がれき類																				
1600動物のふん尿																				
1700動物の死体																				
1800ばいじん																				
合計	1409.931	1470	0	0	0	0	0	0	0	0	1409.931	1470	0	0	72.936	81.3	0	0	0	0

別紙2（廃棄物処理法-産業廃棄物処理計画書）

1 当該事業場において行っている事業に関する事項

①事業の種類	2951 蓄電池製造業
②事業の規模	売上高 3,163百万円（2021年度実績）
③従業員数	239人（2020年度4月時点）
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙参照

2 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項（管理体制図等、別紙を参照）

別紙参照

3 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	（これまでに実施した取組） 木製パレットの返却による廃棄量の削減 生産ラインの工程改善による廃水量の削減
②計画	（今後実施する予定の取組） 当工場の産廃で最も排出量の多い産廃より廃棄量の適正化を図る。 有価売却可能な物を増やす事で発生量を削減する。

4 産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 指定場所での保管・混入防止のため掲示板以外に写真の掲示 ゴミ箱への内容物表記徹底と表記の統一
②計画	（今後、分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） リサイクル率向上に伴う、廃棄物の分別の徹底を図る。



5 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	(これまでに実施した取組) 特になし
②計画	(今後実施する予定の取組) 特になし

6 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	(これまでに実施した取組) 特になし
②計画	(今後実施する予定の取組) 特になし

7 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	(これまでに実施した取組) 特になし
②計画	(今後実施する予定の取組) 特になし

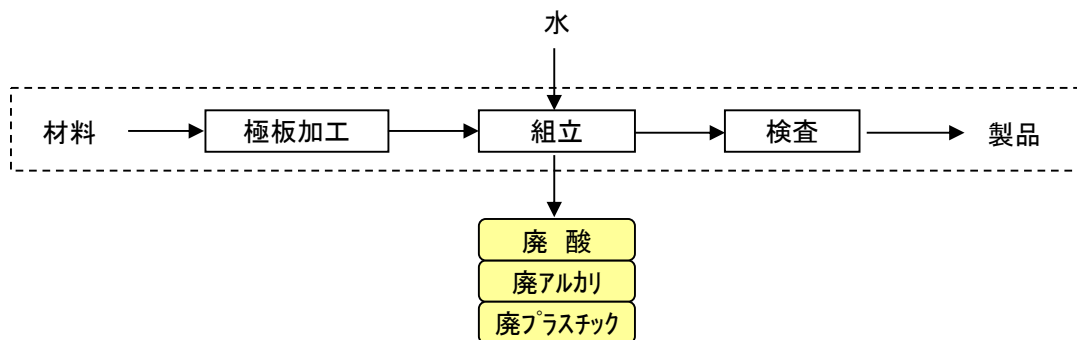
8 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	(これまでに実施した取組) 可能な限り再資源化処理業者への委託によるリサイクルの促進
②計画	(今後実施する予定の取組) 当工場の産廃で最も排出量の多い産廃より無害な水成分を分離し、委託量を削減できないか継続して検討を行っていく。

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

○ 産業廃棄物の一連の処理の工程

<電池製造工程>



廃プラ・・・収集運搬(T社) → 破碎(T社) → 破碎物 → 売却

廃酸・・・収集運搬(D社・D社) → 中和(D社・D社) → 処理水 → 下水道放流  
(残渣はセメント原材料)

廃アルカリ・・・収集運搬(D社・D社) → 中和(D社・D社) → 処理水 → 下水道放流  
(残渣はセメント原材料)

<その他>



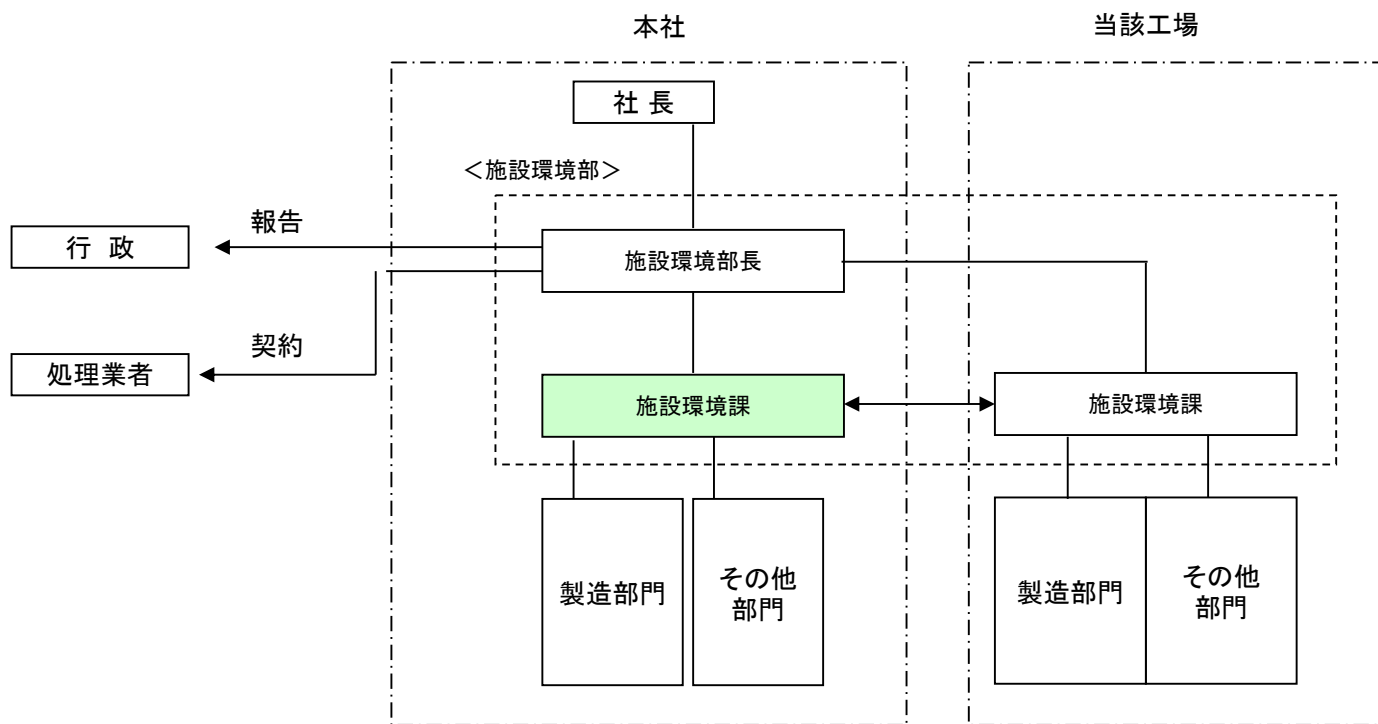
廃油・・・収集運搬(D社・D社) → エマルジョン燃料化(D社) → 燃料 → 売却

廃アルカリ・・・収集運搬(D社) → 油水分離(D社) → 燃料 → 売却

廃プラ・・・収集運搬(T社) → 圧縮(T社) → 圧縮物 → 売却

木くず・・・収集運搬(T社) → 破碎(T社) → 破碎物 → 売却

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項  
(管理体制図)



\* 分担

施設環境部(担当:施設環境課)

- ・マテリアルフローの把握、統合的な廃棄物減量計画の立案
- ・廃棄物処理計画等の策定、部門間の調整
- ・他部門への関係法令等の教育、啓発、指導監督
- ・廃棄物処理委託業者の選定、処理委託契約の手続き
- ・廃棄物の引渡し、マニフェストの発行、適正処理の確認
- ・廃棄物の集計、行政への報告等

廃棄物排出部門(製造部門、その他部門)

- ・部門内の廃棄物発生量の削減努力、場内保管場所への運搬
- ・部門内スタッフへの廃棄物分別方法等の徹底